

## ソーラー投資をさらに有利にする手法のご案内

項目	A 消費税メリット最大化プラン	B 所得税減額・取返しプラン
手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーラー専門法人の設立</li> <li>・3期まではあえて課税、4期以降は免税事業者に。</li> <li>・生産性向上特別措置法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人であえて事業所得で申告</li> <li>・青色申告特別控除</li> <li>・各種領収書を経費に</li> <li>・生産性向上特別措置法</li> </ul>
効果	<p><b>既に消費税課税の事業者や不動産経営者(事務所・駐車場系)の方に最適</b></p> <p>&lt;前提条件&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低圧3基</li> <li>・投資規模：6千万+消費税480万</li> <li>・売電収入：年750万+消費税</li> </ul> <p>&lt;当初3年間をあえて課税にする&gt;</p> $480万 - 750万 \times 8\% \times 3年 = 還付300万$ <p>&lt;4年目～20年目(税率10%)までは免税に&gt;</p> $750万 \times 10\% \times 17年 = 益税1,275万$ <p>&lt;但し、法人住民税均等割&gt;</p> $7万 \times 20年 = \blacktriangle 140万$ <p>→単純合計 = 1,435万</p> <p>&lt;生産性向上特別措置法&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年分の固定資産税が軽減となり207万の節税メリット</li> </ul> <p>&lt;副次的効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者に譲渡しやすい</li> <li>・副業を気にするサラリーマンも親族等を社長にすることでソーラー投資が可能に</li> </ul>	<p><b>サラリーマンにも減税メリットが</b></p> <p>&lt;前提条件&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低圧1基</li> <li>・投資規模：2千万+消費税160万</li> <li>・売電収入：年250万+消費税</li> </ul> <p>&lt;売電収入を青色申告&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・65万円の青色申告特別控除</li> <li>・事業関連の領収書を経費に</li> <li>→売電収入の課税対象が半減</li> </ul> <p>&lt;生産性向上特別措置法&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年分の固定資産税が軽減となり69万の節税メリット</li> </ul> <p>&lt;さらに消費税還付スキーム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネルの消費税を取り返す。</li> </ul> <p>(左欄&lt;当初3年間をあえて課税にする&gt;参照)</p>
会社経営者	◎	◎
不動産経営者・地主		
・事務所テナント ・駐車場メイン	◎	△
・賃貸住宅メイン	△	△
サラリーマン		
・副業禁止が厳しい	◎	×
・副業禁止規定なし・緩い	△	◎
注意点	1法人に持たせるのは4基以内が適当です。 5基以上投資する場合、もう1法人を設立することをお勧めします。	売電収入については、雑所得とする考え方もあります。 考え方に理解を示す税理士と相談の上進めてください。
ASCのサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立は実費のみ(合同会社6万)</li> <li>・日々の会計処理対応とご相談は月1万、決算時10万(消費税対応年度は月+20%、決算時+5万)</li> <li>・書面添付オプション(税務調査が省略される取り組み)+20%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9.5万(事業所得での申告)</li> <li>・消費税ありだと+2万</li> <li>・開業届、青色申告等の各種届出は1万</li> <li>・書面添付オプション(税務調査が省略される取り組み)+20%</li> </ul>